

東京都立浅草高等学校 令和8年度 年間授業計画

教科：国語 科目：言語文化

対象学年：1年次

教科担当者：教員一覧参照

使用教科書と教材は別紙を参照

該当教科と科目の目標

- 【知識及び技能】学習指導要領で示された内容を理解する。
- 【思考力、判断力、表現力等】学習指導要領で示された内容について表現する力を身に付ける。
- 【学びに向かう力、人間性等】学習指導要領で示された内容について日常生活に活用しようとする態度等を身に付ける。

単位数

2

	指導項目・内容	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	予定時数
4月	単元名：古文の学習、「兎のそら寝」 知：言葉には、文化の継承、発展、想像を支える働きがあることを理解する。 思：古典の文章に慣れるとともに、現代に通じる面白さを理解する。 学：積極的に古典に親しみ、説話を味わい、互いに面白さを伝え合う。 【領域：読むこと（古典）】	教材や一人1台端末を活用しながら、主に以下の内容について指導する。 ・ 歴史的仮名遣いや古今異義語、用言の活用、説話 ・ 歌物語における和歌の役割について	【知識・技能】 【思考・判断・表現】 【主体的に学習に取り組む態度】の3観点について、定期考査、出席状況、平常時の取り組み、課題の提出状況などを総合的に評価し、評価を行う。	○	○	○	2
5月	単元名：『伊勢物語』「東下り」 知：文語の決まりや古典特有の表現などによる言葉の変化について理解する。 思：話の中で和歌の果たしている役割を押さえる。 学：歌物語に積極的に親しみ、学習課題に沿って和歌の果たす意味を捉える。 【領域：読むこと（古典）】	・ 「東下り」における本校との地理的関係性 ・ 和歌の修辭法、枕詞、序詞					8
6月	単元名：『万葉集』、『古今和歌集』 知：本文中に登場する、我が国の言語文化に特徴的な語句・語彙の文化的背景を理解し、五感を磨き語彙を豊かにする。 思：我が国の伝統文化の一つである和歌の鑑賞の仕方を理解する。 学：和歌の修辭技法を進んで理解し、学習の見通しをもって和歌文芸の特徴を捉える。 【領域：書くこと】	・ 登場人物の心情の変化、時代背景 ・ 文学史					4
7月	単元名：『I was born』、『その子二十』 知：我が国の言語文化に特徴的な表現の技法を理解する。 思：詩独特の表現方法や構成などを理解し、作品に託されたメッセージを読み取る。 学：象徴的な表現を読み取り、進んで作品世界を理解している。 【領域：読むこと（近代以降の文章）】						6
8月	単元名：『羅生門』 知：主張と論拠など、情報の扱い方について理解する。 思：下人の行動や心理をもとに場面の展開を捉え、老婆の語る論理が下人の決断に与えた影響を読み取るなどして、根拠の示し方や説明の仕方、表現の仕方を工夫して自分の考えを的確に伝える。 学：自分の意見や考えを論述するために、文章の内容や構成、論理の展開の仕方などを積極的に捉える。 【領域：読むこと（近代以降の文章）】						0
9月	単元名：漢文の学習、「訓読に親しむ」 知：言葉には、文化の継承、発展、想像を支える働きがあることを理解する。 思：漢文を訓読するための基礎知識を身に付ける。 学：漢文の基礎知識を積極的に身に付ける態度を養う。 【領域：読むこと（古典）】	教材や一人1台端末を活用しながら、主に以下の内容について指導する。 ・ 訓読、返り点、助字、再読文字 ・ 訓読の決まり					6
10月	単元名：「漁夫之利」、「蛇足」 知：我が国の言語文化に特徴的な語句の量を増し、語感を磨く。 思：漢文に慣れるとともに、現在使われている言葉が漢文に由来することを理解する。 学：故事成語の由来となった話を積極的に読む態度を養う。 【領域：読むこと（古典）】	・ 作品の歴史的、文化的背景 ・ 隨筆 ・ 作品の批判的精神を読み解く ・ 軍記物語					4
11月	単元名：『枕草子』、『徒然草』 知：文語の決まりや古典特有の表現などによる言葉の変化について理解する。 思：隨筆という文章の種類を踏まえて、内容や展開を的確に捉える。 学：隨筆の様々な文体や取り上げられた対象に触れる態度を養う。 【領域：読むこと（古典）】	・ 無常観や武士としての生き方の理解					8
12月	単元名：『平家物語』 知：本文中に登場する、我が国の言語文化に特徴的な語句・語彙の文化的背景を理解し、五感を磨き語彙を豊かにする。 思：合戦を主題とした文学作品を読み、争いを背景として生まれた思想や人間のありようを理解する。 学：作品に表れている無常観を読み取る姿勢を養う。 【領域：読むこと（古典）】						2
3月							0